

令和5年度 利府町標準学力調査の結果分析と改善案（6学年）

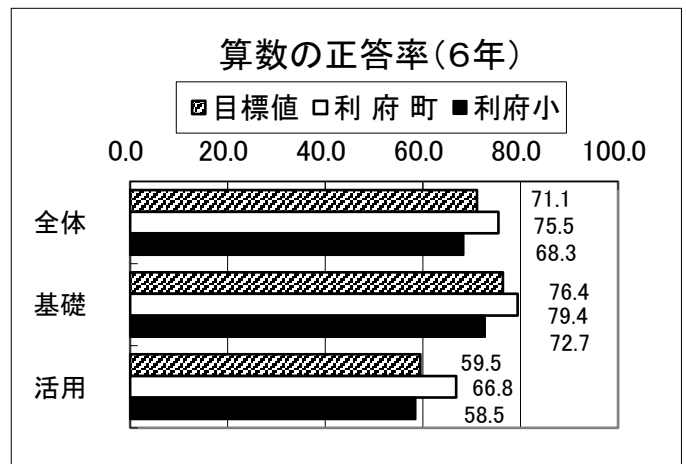
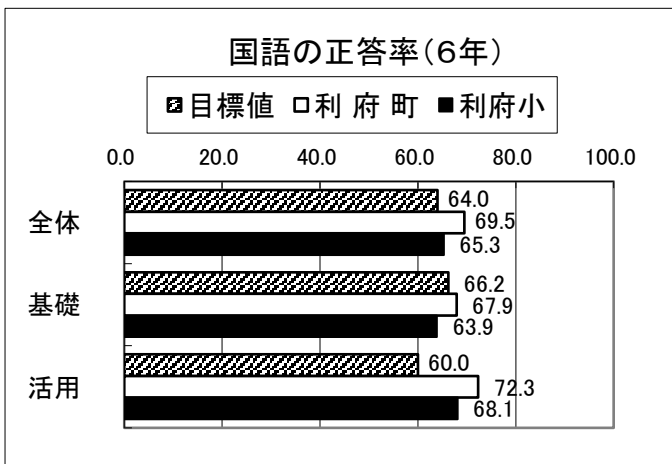
春寒の候、保護者の皆様方にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただいていることに、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年12月に行われた利府町標準学力調査の結果についてお知らせいたします。また、児童には一人一人に検査の結果と学習のポイントが書かれた個人カードを配付いたしました。

つきましては、ご家庭でも学習への取組方等についてお子さんと話し合い、励ましの言葉を掛けていただければと思います。

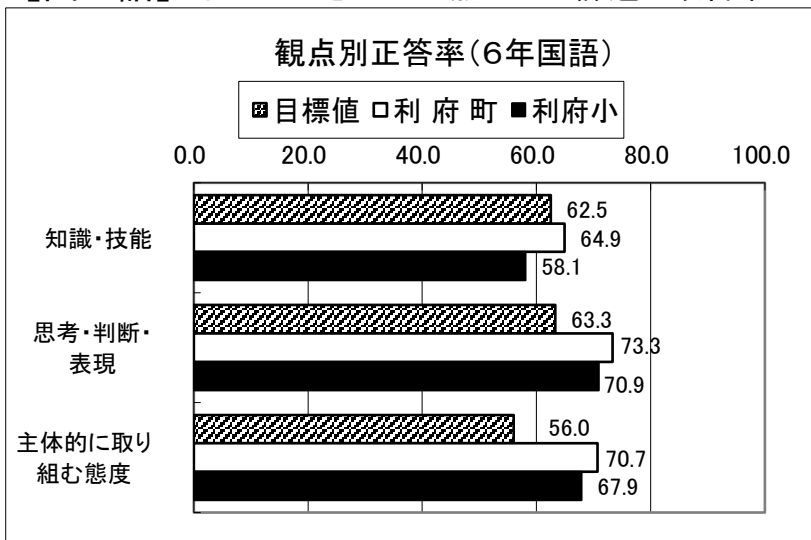
6学年全体の結果から

目標値とは、データに基づいてこの数値まで到達してほしいラインを表したものです。実際の正答率とは異なりますが、およそ全国平均の数値と近いもので、結果を比較する目安となる数値です。



- ・ 国語については、全体で1.3ポイント目標値を上回っています。基礎では2.3ポイント下回りましたが、活用では8.1ポイント目標値を上回っていることから、学んだことを活用して課題を解決する力が身に付いていることが分かりました。
- ・ 算数については、全体で2.8ポイント目標値を下回っています。基礎では3.7ポイント、活用では1.0ポイント目標値を下回っていることから、学習内容の定着にやや課題があることが分かりました。

【国語】◎よくできていた点 ●課題と改善案



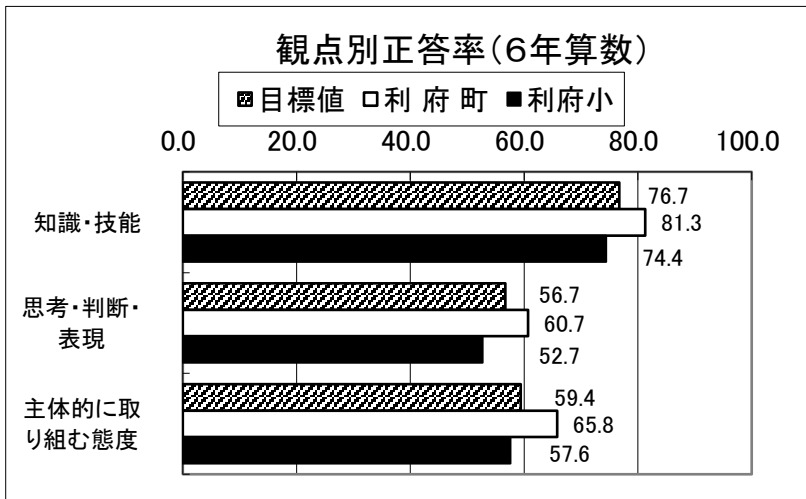
◎指定された長さで文章を書いたり、自分の意見と理由を明確にしながら文章を書いたりする問題の正答率が高くなっていました。

◎音声聞き取って考える問題では、話の内容を捉える力のポイントが高くなっていました。

●漢字を読む問題、漢字を書く問題に課題が見られました。

●熟語の成り立ちについての理解や、敬語の使い方の問題に課題が見られました。タブレットのドリルを使い、引き続き反復練習を重ねていきます。

【算 数】◎よくできていた点 ●課題と改善案



◎文字と式についての問題で正答率が高くなっていました。文字を使って、2つの数量の関係を式に表したり、一方の文字の値から他方の文字の値を求めたりする力が身に付いていると考えられます。

●分数のかけ算やわり算の計算問題の正答率が低くなっていました。

●比と比の値についての問題の正答率が低くなっていました。

宿題のプリントやタブレットのドリルなどで復習を行い、解き方を定着させていきたいと思います。

個人票『あなたの結果』の見方

① 教科正答率 (%)

全て正解の場合は100%になります。「あなた」の欄のお子さんの数値と目標(到達してほしい数値)を比較しておおよその目安としてください。

右側の児童のみなさんへの文章をお子さんと一緒に読んでみてください。

② 内容別の正答率

国語と算数それぞれの問題の内容別にお子さんの正答率を表しています。評価は目標値との比較により、3段階で表されています。特に▲は、内容が十分に身に付いていないことを表します。

表の下にはお子さんへのアドバイスが記述されています。自主学習に取り組む際の参考にしてください。

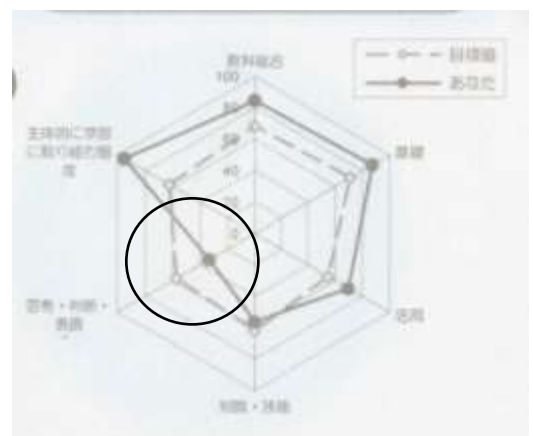
(例) 小学校6年 算数

問題の内容	正答率 (%)		評価
	あなた	目標値	
文字と式	80.0	82.5	○
拡大図と縮図	87.5	77.9	◎
対称な形	65.4	81.4	▲
総合	78.5	79.5	○

▲の評価である「対称な形」の学習が十分に身に付いていないことが分かります。

※詳しくは、個人票の裏面をご覧ください。

③ 領域別のグラフ



『目標値』より内側の値(○の中の部分)は目標に届かなかったことを表します。